

令和8年度

みさと緑のカーテンコンテスト
応募作品・活動事例集

環境行動推進事業実行委員会事務局
(三郷市クリーンライフ課内)

今年は、11 団体の皆様にご参加いただき、それぞれの工夫が詰まった素晴らしいカーテンを育て上げてくださいました。暑さ対策や省エネはもちろんのこと、水やりや日々の観察を通した地域や職場のコミュニケーションも、きっと素敵な思い出になったことと思います。

ご応募いただいたすべての皆様の温かい取り組みに、心より感謝申し上げます。

この冊子では、皆様から寄せられたすべての活動事例をご紹介します。来年のヒントや、お気に入りの工夫を見つけてみてください。ぜひ最後までお楽しみください！



令和 8 年 10 月

環境行動推進事業実行委員会事務局

目 次

No.	団体名	ページ
1.	幸房小児童クラブ	2
2.	丹後保育所	4
3.	【入賞】北公民館	7
4.	鷹野小学校	14
5.	立花小学校	17
6.	【入賞】早稲田小学校	20
7.	キャノンファインテックニスカ	22
8.	【入賞】早稲田保育所	26
9.	しいのみ学園	29
10.	【入賞】幸房小学校	31
11.	【入賞】伸栄化学株式会社	38

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設名） 名	(フリガナ) ミサトシリツコウボウショウガッコウジドウクラブ 三郷市立幸房小学校児童クラブ
住 所	[REDACTED]
電 話 : [REDACTED]	メール :
苗の育成状況	育成 10 本 (うち育成不良 7 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） 建物が増築され、昨年度とは、日当たり、風当たりの状況が変わってしまったなか、ある意味初めての挑戦であった。土壌の質も水はけ、水持ちを含めて良い方ではなく、肥料も少し入れたが、雑草と直射日光と乾燥と闘いながらの育成であった。土日祝日が施設の休室日であることから、世話をすることができなかったが、幸か不幸かゲリラ雷雨による大量の降雨もあって持ちこたえられた苗もあった。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） 今年は、初めての取り組みであったので、前年度との比較はできないが、日よけ的な緑のカーテンを立てるような環境にはなく、土壌等もあり良くないなかでもゴーヤが育つということを確認できたことは、何よりの収穫であった。緑のカーテンまで至らなかったため、快適度や、経済的な効果を測ることは出来なかったが、今後、プランター等で行っている事例なども勉強しながら、緑のカーテンの趣旨に沿った育成を考えていきたい。	

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

苗はかなり立派であったが、土壌等の悪さから、正直なところあまり期待はしていなかった。しかし、こどもの施設であることから、ゴーヤの育つ過程をそれとなくでも見せることができればという思いから、今回、このプロジェクトに試験的に参加した。

設置場所については、逆に児童のいたずらの対象とならないよう、目立たない場所を選んだため、育成状況をみんなで観察といったことができていないが、今後の展開については学ぶことも多かったので、引き続き考えていきたい。

枝葉の伸び具合は、あまり良くなかったが、順調に育った苗3本のうち、2本から、そこそこのサイズのゴーヤが5つ収穫できそうであることは、予想外の喜びであった。

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：育成記録等

令和8年8月4日



撮影日：育成記録等

令和8年8月4日

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシリツタンゴホイクショ 三郷市立丹後保育所
住 所	
電 話：	メール
苗の育成状況	育成 15 本 (うち育成不良 0 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） ・大きなプランターを使用して栽培しました。 ・気温の高さで土も乾きやすく、朝夕の水やりは大変でした。 ・梅雨明け頃より葉に白い斑点（うどんこ病？）が見られ始めたため、お手製の酢水で対策をしたところ、それ以上の広がりは見られなかったので良かったです。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） ・南側に緑のカーテンを作ったことで、しっかり日陰を作ることができました。 ・設定温度を上げて室内が涼しく感じられ、経済効果は大いにあったと感じています。また、室内から廊下への冷風につなげることができ、園舎内の快適さが増しました。	
緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど） 頂いた15本の苗がぐんぐん生長をしてくれました。玄関の近くに緑のカーテンを設置したことで日々の生長の様子を親子で感じて頂くことができ、収穫したゴーヤをこども達に1本ずつ持ち帰ってもらうことで、親子の会話にもつながったように思います。育てるところから、食すところまで、園全体でとても良い食育につながったと思います。	

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



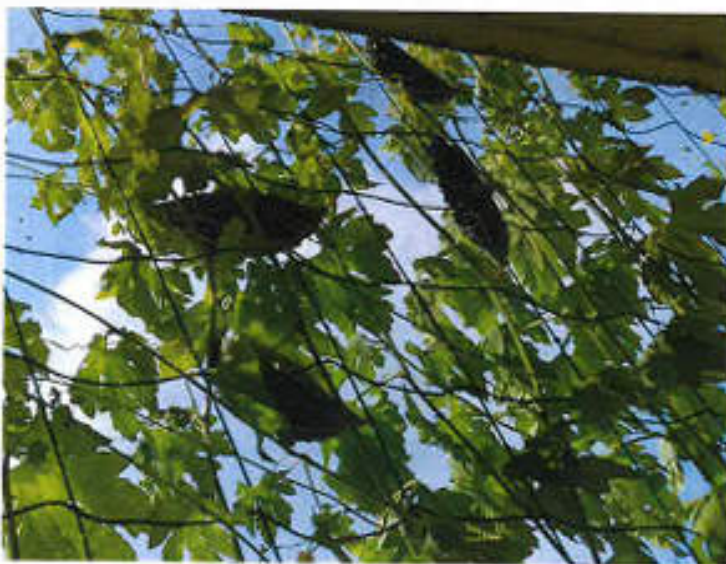
撮影日：5月28日
育成記録等

5歳児クラスのお友だちが、プランターに苗を植えてくれました。優しくそお〜と上手に植えることができました。『たのしみ〜』と大きく生長することが待ち遠しい様子のこども達でした。



撮影日：6月29日
育成記録等

プランターに植えてから1ヶ月！摘芯をして脇芽を伸ばしぐんぐん大きくなってきたゴーヤには、花が付き始めました。



撮影日：7月23日
育成記録等

朝夕の水やりと、2週間に1回の追肥でぐんぐん生長したゴーヤの葉に、たくさん実が付き始めました。

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。

	撮影日：7月31日 育成記録等 ゴーヤがすくすく生長し、緑のカーテンになりました。日陰効果もバッチリです！ 大きなゴーヤもたくさん収穫できました。こども達が持ち帰り、家庭で美味しく食べてもらうことができました。
写真をお貼りください	撮影日： 月 日 育成記録等
写真をお貼りください	撮影日： 月 日 育成記録等

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。



みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシリツ キタコウミンカン 三郷市立 北公民館
住 所	[REDACTED]
電 話 : [REDACTED] メール [REDACTED]	
苗の育成状況	<u>育成 9 本</u> (<u>うち育成不良 2 本</u>)

設置や育成について（工夫した点・苦勞した点・失敗した点など）

【設置】令和6年度、令和7年度とプランター栽培を続けてきました。しかし、プランター特有の課題もありました。それは、プラスチック容器が直射日光で熱せられることによる根へのダメージ、そして土の量が限られるために収穫量や株の大きさが頭打ちになってしまう点です。そこで今年度は、さらなる収穫量と盛んな生長を期待して、花壇への地植え（露地栽培）へと切り替えることにしました。

【育成】（工夫した点）地植えのメリットを最大限に引き出すため、今回は植え付け前の土壌改良に最も重点を置きました。まず、土をふかふかにして、排水性と保水性を高めるために効果的な牛糞堆肥をしっかりとすき込みました。さらに、ゴーヤの根を強く健康にする効果がある苦土石灰を散布しました。仕上げるに、初期の生育を促し、短期間で土にしっかりと養分を補う効果がある化成肥料を元肥として混ぜ合わせ、万全の土壌環境を整えました。また、休館日や大雨の日を除いて、植物が元気に育つよう、毎日の水やりも徹底しました。始業直後と夕方 16 時の 1 日 2 回、時間を決めて欠かさず水やりを続けました。

(苦勞した点) ゴーヤを植える際、グリーンネットとの距離を離して植えてしまいました。そのため、**自力ではつる**がネットに到達しにくそうだったため、途中の6月上旬に支柱を設置してネットへ届くようサポートを行いました。

(失敗した点) ゴーヤを地植えて2週間ほどが経過した際、2本の苗がネキリムシの被害に遭い、茎が完全に切れてしまいました。袋やペットボトルなどで茎の周りをガードしなかったことが反省点です。

緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など）

緑のカーテンがぐんぐんと成長し、上の方がかなり茂ってきた一方で、下のほうの葉が少しずつ枯れ始めてきました。これは、上の葉が太陽の光をそれだけしっかりと遮ってくれている証拠なのだろうと感じました。実際、お世話のときに裏に入ると、日なたとの温度差を肌でハッキリと感じました。8月13日～14日の豪雨の際にも、この密集した葉が激しい雨をしっかりと遮断してくれていました。緑のカーテンには、本来の役割である遮光・遮熱効果（省エネ効果）に加えて、激しい雨を和らげる「天然の傘」としての役割もあると思いました。

余談にはなりますが、ちょうどカーテンの裏にツバメの巣があるので、強い日差しからも大雨からも守ることができて本当に良かったです。

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

（応募時点での育成総括）

本年度のゴーヤ栽培については、初期段階で**ネキリムシによる食害**が発生し、一時は育成の継続が危ぶまれる状況に直面しました。しかし、適切なタイミングを調べながら**2回の摘心**を実施し、さらにつるの誘引といった**人力による細やかな補助**をおこなった結果、壁面全体へ十分に広がるグリーンカーテンを形成することができました。収穫面についても、大きさには多少のバラつきが見られたものの、**平均サイズ 18cm、最大 27cm**に達する良質なゴーヤを合計**70個以上**収穫することができました。2年ぶりの地植えと近年の激しい気象変動がある中、グリーンカーテンの形成および収穫量の双方において、十分に満足のいく成果を収めることができましたと思います。

（アピールポイント）

北公民館では、デジタル「きたe公民館」というページがありますが、今回環境への取り組みの一環として実施した緑のカーテンの成長過程を収めた、**定点撮影写真をコマ送りにしたタイムラプス動画を、市の公式 YouTube チャンネルにアップする予定です（カーテンの衰退がみられる 10 月末まで撮影を続け、年内に公開予定です）**。苗の植え付けから、葉が茂り大きなカーテンへと成長するまでの様子を、短時間で分かりやすく見ていただける映像となると思います。**お子様にとっても自然科学への興味や、環境問題を考えるきっかけとなれば嬉しく思います。**

before

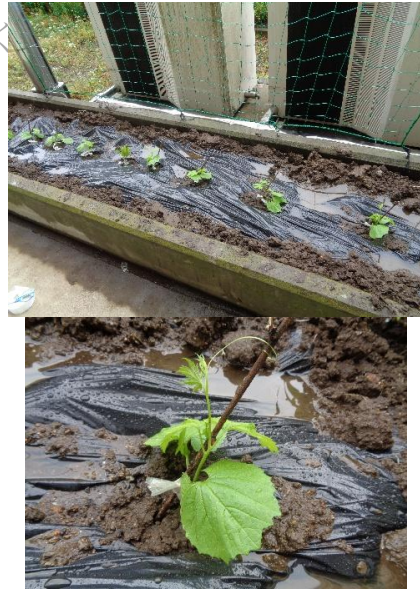


after



撮影日：4月24日(金)

2年間使っていなかった畑を再生するため、雑草の除去と害虫の駆除を行い、**牛糞堆肥、苦土石灰、化成肥料**、をすき込んで十分に水をなじませました。
※土壌が安定するのを待つため、**約1か月間**畑を寝かせました。



撮影日：5月22日(金)

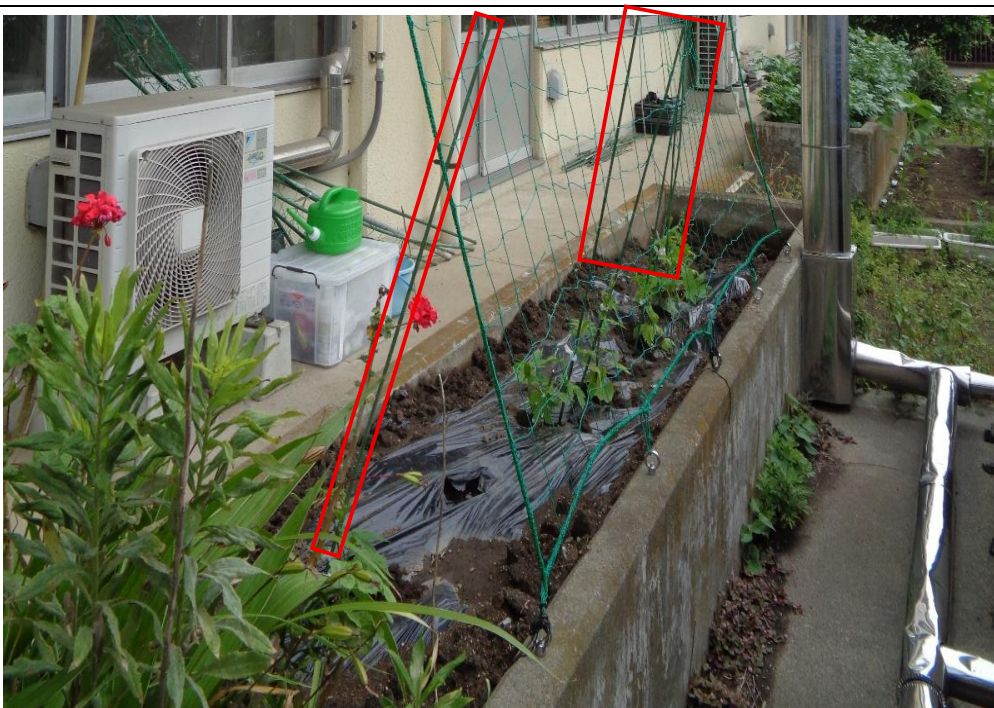
土の乾燥や急激な温度変化を防ぐためにマルチを敷いた後、ヤマブキの枝を支柱に再利用し、スズランテープで茎を圧迫しないよう優しく結んで、ゴーヤの苗9株を畑に地植えしました。

※赤丸部分は、たまたまツバメの巣があることを発見しました。



撮影日：6月1日(月)

植え付けから約1週間後、9本のうち2本のゴーヤの茎がネキリムシに切られてしまいました。袋やペットボトルなどで茎の周りをガードしなかったことが悔やまれましたが、残りの7本は少しずつ成長しています。



撮影日：6月10日(水)

幸いにもその後はネキリムシの被害はなく、苗は順調に成長しています。ただ、ゴーヤの苗をネットから少し離れた場所に植えてしまい、このままでは自力でつるが届かない状態でした。そこで、苗からネットまでの空間に園芸用の支柱を人力で組み、つるが自然にネットへと絡みついていけるよう、成長の導線のアシストしました。



撮影日：6月13日(土)

6月10日の誘引の甲斐もあり、つるがネットにしっかりと届き始め、本葉も5枚ほどまで育ったため、親蔓の先端を摘芯しました（一回目の摘心）。

※親蔓の摘芯後は、さらなる成長を促すために、化成肥料とハイポネックスを約1週間間隔で与えていきました。



5/22(初日)



6/20



撮影日：6月20日(土)

5月22日にゴーヤの苗を植え付けてから約1か月が経過した本日、複数の苗に雄花の開花を確認しました。これから雌花が開花し、無事に実を結んでくれるのを待ちます。



7本の株それぞれについて、赤丸で囲んだ下層部分の子蔓を数本、根元近くから切り取りました。

※さらに、これからの実の肥大を促すために、リン酸成分が豊富なバットグアノを追肥しました。

撮影日：7月3日(金)

一番育ちの良い苗は背丈ほどの高さまで達したため、この日、2回目の摘心（子蔓）をおこないました。今後は孫蔓がさらに増え、より多くの実が成ることを期待します。



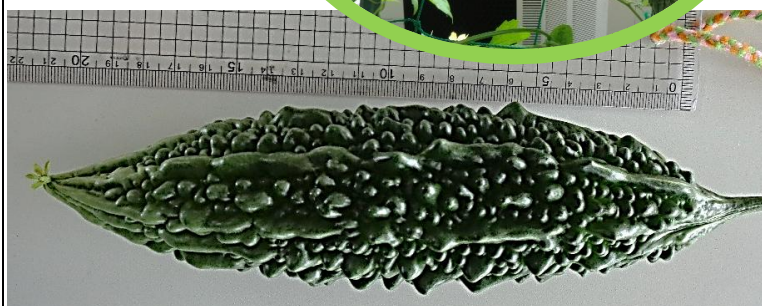
撮影日：7月8日(水)

カーテンはさらに大きく成長し、これまでに2回おこなった摘心の甲斐もあって、横方向にも広がり始めました。そしてこの日、ついに初めて**雌花の結実**を確認することができました。



撮影日：7月13日(月)

その後、あちらこちらで複数の雌花が次々と結実しているのを確認できるようになりました。なかでも一番育ちの良いものは、すでに**10cm** ほどの大きさにまで成長していました。



撮影日：7月18日(土)

20cm ほどにまで成長した実が確認できたため、記念すべき**第1回目の収穫**をおこないました。この日は、サイズが 20cm 前後に達したゴーヤを計 3 本収穫することができました。新鮮で、水分がたっぷり詰まっている証拠である、立派なとげもありました。

7月下旬～最盛期にかけてのカーテンの変遷



8月12日 カーテンは北公民館のベランダにまで達しました。



カーテンの
最盛期

撮影日：7月25日(土)

撮影日：7月31日(金)

撮影日：8月12日(水)

5月22日の植え付けから、カーテンの成長過程において、**8月12日に最も葉が生い茂り、最盛期を迎えました。**

植え付けから最盛期を迎える8月12日までに、**初収穫を含めて計6回の収穫**ができました。また、翌日13～14日に見舞われた激しい豪雨の際にも、この密集したカーテンが雨の吹き込みを和らげる**防雨の役割**を果たしてくれました。

応募時点の8月19日

(水)までに収穫したゴーヤの記録一覧です。

手が届かない高い場所にも実がなっていたので、実際には写真の収穫量よりも多くの実が結実していました。

※8月19日を境に、それまでの勢いに比べるとゴーヤの実が成る速度が徐々に緩やかになってきました。

★育成日記はここまでとなります。



8/19時点までに

72本収穫！





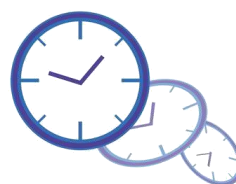
収穫したゴーヤの最大サイズは、8月15日に収穫した **27cm** でした。



YouTube 動画のサムネイル
(イメージ)



5/22 から定点撮影した
写真(約 140 枚)をコマ
送りにしたタイムラプス
動画を製作予定！



★さいごに

冒頭のアピールポイントでも述べた通り、今回の緑のカーテンの副産物として、**お子様向けのデジタルコンテンツ**を北公民館ホームページ内（デジタル「きたe公民館」）にアップ予定です。内容としては、**カーテンの成長から衰退までの変化を伝えるため、10月末まで定点撮影を継続し、その様子を市の公式YouTubeチャンネルにて、縦型ショート動画として公開する**予定です。

以上

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

氏名または事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシリツタカノショウガッコウ 三郷市立鷹野小学校
住 所	
電 話 : メール :	
エントリー部門	1. 個人の部 2. 団体の部 → 2 (番号を記入)
苗の育成状況	育成 3 0 本 (育成不良 2 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） ・地球温暖化が進む中、空気中の熱や地熱の影響から室内の温度上昇が激しくなっている。そこで、室内の温度を少しでも下げ、過ごしやすい環境となる一助とした。 ・こまめに草取りや追肥を行い、成長を促した。 ・夏休み中は日直の先生にお願いし、定期的な水やりを行った。 ・強風に備えて、支柱を立てたり、ネットで覆ったりした。 ・適切な芽かきや摘芯を行えず、ネット全体につるがはわず、葉の量もまばらになってしまった。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） ・成長するにつれ、図書館に日陰ができ、過ごしやすい環境になった。また、緑のカーテンがあることで、エアコンの設定温度を高めにしても、過ごしやすい室内が保たれた。	
緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど） ・毎年緑のカーテンでゴーヤを育てているため、6年生の委員会の子どもたちが率先して土づくりや苗植えを行ってくれ、子どもたちの中で緑のカーテンが定着していることを感じられた。 ・「大きくなってきたね。」「ゴーヤができています！」など、子どもたちと一緒に成長を楽しむことができた。 ・1年生が「これは何？」と興味を持ってくれ、新しい植物や緑のカーテンの取り組みに触れることができた。	

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：5月15日

育成記録等

- ・環境委員会の活動として、子供たちと一緒に土づくりをしてから苗を植えた。
- ・苗に栄養がいきわたるように、定期的に雑草を抜いた。



撮影日：7月17日

育成記録等

- ・草取りと週に1回ほど液肥をまき、成長を促した。
- ・親づるが2階まで伸びてきた。
- ・花が咲き始めたが、例年と比べるとつるの伸びがゆっくりで葉の数が少ないようである。



撮影日：7月27日

育成記録等

- ・草取りと週に1回ほど液肥をまき、成長を促した。
- ・つるがさらに長くなり、葉の数も多くなり、日陰の部分ができてきた。
- ・夏休み中に入り、ゴーヤの実がなり始めた。



撮影日：8月24日

育成記録等

- ・草取りと液肥をまき、成長を促した。
- ・葉がたくさん出てきたので、日陰になる部分が増え、涼しく感じる。
- ・ゴーヤの実もたくさんできた。

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設名） 名	(フリガナ) 三郷市立 立花小学校
住 所	
電 話:	メール:
苗の育成状況	育成 10 本 (うち育成不良 0 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） 当たり等を考慮して、「理科室」前の土壌に植えることにした。ネットも発育にあわせて早めに設置して、成育を妨げないようにした。朝から暑い日も多く、水やりを早い時間にすることに注力した。場所が昨年、その前と連作が続いているため、実が大きくならなかった。来年度以降は、土壌改良が問題となるかもしれない。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） 近年の猛暑のため、緑のカーテンの大きさは十分ではないように思われる。以前はもっと繁っていたように感じている。しかし、自然の植物でのカーテンは、空気を汚さないし光も目に優しく、経済的にもすぐれていると実感している。	

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

理科室前のウツロギ（実際は金魚草を飼育しているため）お肌カーテンをいじりたくはない。緑のカーテンは光量とうまくとり入れることもでき、外気温も少し下げてとり入れることができるなどメリットが多い。また、「にかうり」も料理等に活用することもでき、一石二鳥のグリーンカーテンといえる。

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：7月9日

育成記録等

6月下旬に西の廊下の
苗を植えたところ、順調
に成長していった。
気温は暑い日が続いたが、十分な
水やりをおこない、
しっかりと育っている。



撮影日：7月16日

育成記録等

環境委員会の
児童も、「かきわり」や
「あせいか」や「野菜」
の水やりに加えて
「にかうり」の水やりも
実施。また結果
は必ず収穫できずに
残念がっていました。



撮影日：7月23日

育成記録等

たくさん花がのー
グリーンカーテンぽくなって
きました。花は大きくな
らないでね、たくさん
10cmほど咲いています。
実がでるのを楽しみ
です。

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。



撮影日：7月23日

育成記録等

実が3cmほどで
います。もう少し大き
くなってから収穫したいと
思います。最近では、
昔のように30cmほどの
実がでるくらいのこと。
どの位まで大きくなるか
楽しみです。



撮影日：8月3日

育成記録等

かなりしっかりと育ち
緑のカーテンらしくな
りました。8月には、
何本もにかうリニギヤ
がとれた。まだ黄色
の花が、4.5cmほど
いるのでこれから収穫の
望めそう。カーテンとしての
機能も充実してきました。

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設名） 名	（フリガナ） ミサトシリツワセダショウガッコウ 三郷市立早稲田小学校
住 所	〒125-8501 東京都江戸川区西葛西1-1-1
電 話：	03-3633-1111
メー ル：	info@misato-shiritsu-wase-dai-nishinae.ac.jp
苗の育成状況	育成 30 本 （うち育成不良 0 本）

設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など）

三郷市立早稲田小学校では、児童保育クラブ施設の壁面に這うようにグリーンカーテン用の苗を植えました。

夏休みの間も、児童保育に通う児童の皆さんで協力して水や追肥を与えました。

植える前の土壌はゴーヤの苗を育てられる環境ではありませんでした。そこで、土づくりから始めゴーヤが育ちやすい環境に整えたことで土地の有効活用にもなりました。



緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など）

西日の強さで毎年暑さの厳しいプレハブ小屋が、緑のカーテンのおかげで昨年よりエアコンの効きが良く感じられました。

この緑のカーテンは道路からも見ることができるので、作業中に近隣住民の方からも「涼しくなって良いですね。」と好評でした。

教室や廊下から外を見たときに、緑色の葉がゆれ、涼しく感じることができました。

直接窓に日光が当たらないので、より快適に夏をすごすことができました。



緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

＜児童保育クラブの児童の皆さんの感想＞

- ・毎日大変だったけど、日に日に育って伸びていくのが嬉しかった。
- ・ゴーヤの成長がとても早いと感じました。
- ・思ったよりも大きく育ってくれて嬉しかった。
- ・またやってみたい。
- ・皆で水やりを協力して育てるすばらしさを感じた。
- ・廊下や教室から窓を見たときに、緑色にキラキラして涼しく感じました。
- ・日光が窓に直接当たらないので天然のカーテンみたいで涼しかったです。



緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：8月3日

育成記録等

5月末に植えたゴーヤはどんどん伸びていき、しっかり蔦を出して大きくなっていました。

ゴーヤの実もできてきました。

10個程度収穫をして児童クラブの児童の皆さんと分けました。



撮影日：9月1日

育成記録等

追肥をすることで、更に生長をし、大きな葉や実を沢山つけていました。ゴーヤの実 は8月よりもさらに大きくなり、数も採れる範囲だけで36個ありました。

窓からは緑色の涼しげな光景が広がっていました。

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

氏名または事業所（施設）名	(フリガナ) キヤノンファインテックニスカカブシキカイシャ ミサトホンシャ キヤノンファインテックニスカ株式会社 三郷本社
住 所	
電 話：	メール：
エントリー部門	1. 個人の部 2. 団体の部 → 2 (番号を記入)
苗の育成状況	育成 <u>6</u> 本 (育成不良 <u>1</u> 本)

設置や育成について（工夫した点・苦勞した点・失敗した点など）

今年で 5 年目となる緑のカーテンを、社員出入口ゲート正面（東側）に設置しました。過去に南側で栽培した際、強い日差しの影響で葉の生育が思うように進まなかった経験から、今年も東側に設置しました。この場所は社員や来訪者の目に留まりやすく、環境への取り組みを広く知っていただく啓発効果も期待して選定しています。

・工夫した点：

これまでの栽培実績から、現在の育成方法で毎年安定して 30 本以上のゴーヤを収穫できているため、基本的な栽培方法は継続しました。特に水やりは欠かさず実施し、夏季休暇期間中も守衛の協力を得ながら管理を継続しました。社員が不在となる期間も含めて丁寧な管理を行ったことで、ゴーヤの収穫量が維持できました。

・苦勞した点：

例年と同様に、完熟したゴーヤが落下・破裂しないよう適切なタイミングで収穫することに気を配りました。また、2 台のプランターに計 6 本の苗を植えましたが、そのうち 1 本が途中で枯れてしまいました。原因は特定できませんでしたが、生育状況を維持する難しさを改めて感じました。

・失敗した点：

天候の変化により水やりの判断が難しい日もありました。今回の経験を活かし、来年はよりきめ細かな管理を行い、すべての苗を健全に育成できるよう取り組んでいきたいと考えています。

緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など）

今年は昨年と比較して気温がやや低めで推移したことに加え、苗が 1 本枯れてしまった影響で葉の密度が十分に確保できず、例年ほどの遮熱効果は実感できませんでした。

しかし、緑のカーテンによって窓面への直射日光を和らげることができ、建物周辺の見た目にも涼しさを感じられる環境づくりにつながりました。また、社員出入口前に設置したことで、多くの社員が日常的に生育状況を目にする機会となり、省エネルギーや環境保全への意識向上にも寄与したと感じています。

さらに、「今年はどれくらい収穫できるのか」「いつ頃配布されるのか」といった会話が生まれ、環境活動を身近なものとして捉えてもらうきっかけにもなりました。

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

例年どおり社員出入口正面に設置したことで、多くの社員や来訪者の方々に当社の環境活動を知っていただくことができました。ゴーヤの成長を見守る社員も多く、生育状況が社内の話題になるなど、環境活動への関心を高める効果を感じています。

今年は苗 1 本が枯れてしまったものの、残った苗は順調に成長し、8 月末までに 20～30 本のゴーヤを収穫することができました。収穫したゴーヤは希望する社員へ配布し、ご家庭で夏の味覚として楽しんでもらいました。

社員からは、

「今年も収穫を楽しみにしていました」

「来年もぜひ続けてほしいです」

「苦みが少なくて食べやすかった」

といった声も寄せられ、環境活動が社員とのコミュニケーションの場にもなっています。

5 年間継続して取り組んできたことで、緑のカーテンは当社の夏の恒例行事として定着してきました。今後も継続的に活動を実施し、より元気で密度の高い緑のカーテンづくりを目指すとともに、環境負荷低減と環境意識向上の両面で貢献できる活動として発展させていきたいと考えています。

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：5/20

部門のメンバーで苗を
植えました（6株）

元気に育て！



撮影日：7/14

昨年に比べ、生育がイ
マイチです。

1 本枯れてしまつて、
葉っぱの密度も低いで
す。

それでも花を咲かせて
います。

	撮影日：8/10 1 本枯れてしまいましたが、ゴーヤの収穫量は昨年並み。 葉っぱが少なかったの で、冷却効果はイマイ チでしたが、ゴーヤの 生命力を感じました。
写真なし	記録日：9/3 今年は日照時間も短か ったからか、収穫でき る期間が短かったで す。実がなくなっ たので、昨年よりも 1 ～2 週間早めに片づけ ました。 来年も頑張ります。

以上

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシリツ ワセダホイクショ 三郷市立早稲田保育所
住 所	
電 話	メール
苗の育成状況	育成 10 本 (うち育成不良 0 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） ・涼しさの違いを感じられるように日当たりのいい窓際に設置をしました。 ・水やり、追肥：朝夕にたくさんの水をあげるように意識しました。定期的な追肥も意識しました。 ・つるを、横に増やしていくよう意識し、密度の高いカーテンを作りを目指しました。 ・いただいた苗がとてもいい苗でした。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） ・普段陽当たりの良い場所ですが、ゴーヤの蔓が伸びてくることで日陰ができ、涼しさを実感しました。また、葉が伸びてくると視覚的にもとてもきれいで、「ゴーヤのはっぱがのびてる！」と園のこどもたちがゴーヤの成長を喜ぶ姿も印象的でした。 ・グリーンカーテンがあることで、室内の温度が低くなり、涼しさを実感することができました。	
緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど） ・毎朝、観察をすると蔓が伸びている様子や、花が咲いている様子がかわいらしく、夏の良い思い出になりました。また、ゴーヤのカーテンが育つと共に、ゴーヤのいい匂いがしてきてとても感動しました。 ・猛暑で葉がしおれてしまうこともありましたが、職員で協力し朝夕の水あげを欠かさず行うことで無事に立派なカーテンに育ってくれました。 ・密度の高いカーテンを目指したことで直射日光が遮られ、室内もとても涼しくなりました。 ・育てる楽しさ、涼しさ、そして美味しい収穫もあり、ゴーヤの魅力をたくさん感じることでできた夏でした。	

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



撮影日：5月15日

育成記録等

・園のこどもたちと一緒に苗を植えました。苗の持ち方や、植え方など、手順を説明して一緒に行いました。

「これがゴーヤになるの??」

「ちゃんと大きくなるかな…！」など、生長を楽しみにするこどもたちがとてもかわいかったです。



撮影日：5月15日

・手に土がたくさんついていても気にせず一生懸命植えてくれているところです。



撮影日：7月末

育成記録等

・ぐんぐん伸びてきてくれています。

この頃から蔓を横に増やしていくように意識しました。



撮影日：8月20日
 育成記録等
 ・密度の濃いカーテン
 になってきました！
 裏側から撮影しまし
 た。日陰ができて涼し
 い様子を撮ることが
 できました。



撮影日：8月23日
 ・立派な緑のカーテン
 に育ってくれまし
 た！



みんなで美味しくい
 いただきました 🍈

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシジドウハッタツシエンセンター シイノミガクエン 三郷市児童発達支援センター しいのみ学園
住 所	[REDACTED]
電 話:	[REDACTED] メール: [REDACTED]
苗の育成状況	育成 8 本 (うち育成不良 2 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） ・培養土を使用し、追肥等も行わず、朝・帰りの水やりと週末の水やりは職員間で声掛けをしてたっぷりとおげました。苗植え後、2本の苗が根くい虫に食べられてしまい、生育不良となっていました。連日の猛暑でしたが、他の苗の生育は早かったように感じられます。日々の水やりと周囲の雑草取りのみでしたが、軒下まで弦・葉が成長し、窓越しから見える緑がたくさんとなりました。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） ・事務室前に設置しました。やわらかい緑色は目にも優しく、窓一面に広がる緑のカーテンにより夏らしさを感じることができました。昼過ぎから西日が差し込む場所でしたが、遮光効果もあり、より涼しさを感じる事が出来ました。	
緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど） ・蔓を伸ばしどんどん育っていく様や、花をつけ実をつけていく過程を見守りながらの水やりは日々の楽しみの一つでした。ゴーヤが収穫できる大きさになると、通りかかったお子さんや保護者さんが興味を示してくださいました。収穫したゴーヤは、毎年楽しみにしている親御さん・職員等で美味しくいただきました。	

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。

		撮影日：7月24日 育成記録等 ゴーヤが実をつけ始めました。収穫が楽しみです。今年も緑のカーテンで涼しく過ごせました。
		撮影日：7月24日 育成記録等 室内から撮影しました。緑の葉が窓を覆い、所々から差し込む光がとても綺麗で清々になりました。実をつけたゴーヤに興味津々のお子さんもありました。
		撮影日：7月27日 育成記録等 収穫です！丸々したかわいらしいゴーヤたちです。

写真がたくさんある場合は用紙を複写してお使いください。

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

氏名または事業所（施設）名	(フリガナ) ミサトシリツコウボウショウガッコウ 三郷市立幸房小学校
住 所	
電 話:	メール:
エントリー部門	1. 個人の部 2. 団体の部 → 2 (番号を記入)
苗の育成状況	育成 <u>56本</u> (育成不良 <u>10本</u>)

設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など）

- ・総合的な学習の時間において、グリーンカーテンを作る上で適した植物や、グリーンカーテンがもたらす効果（地球温暖化対策等）について児童に考えさせた。
- ・数ある植物の中でも特に葉が大きく、日差しを遮る効果が高いゴーヤに限定して育成に取り組んだ。一種類の植物に限定することで、植物の種類による違いではなく、日光の当たり方や土の条件、苗の間隔、網の広さなど、環境要因について児童の目を向けさせ、深い学びに繋げることをねらった。
- ・クラスごとに場所を分けて植えることで、愛着をもち、楽しんで世話をすることができた。グリーンカーテンを育成する中で「自分たちで育てる」という責任感や、クラス・学年で協力して育成を行う温かな雰囲気をもたらしことができた。
- ・追肥や雑草抜きをし、育成に適した土壌作りを行ったり、摘心や伸びてきたツルを誘引して広げたりした。
- ・苗植えと同時に網や支柱を設置することで真っすぐに伸びるグリーンカーテンになった。
- ・ゴーヤの苗の間隔や日当たりにより、成長度合いが異なり、枯れてしまうものもあった。

緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など）

- ・グリーンカーテンの裏側は日差しを遮ることができ、風が吹くと夏場でも涼しく感じるすることができた。
- ・外遊び中にグリーンカーテンの裏で涼んでいる低学年の児童がおり、日差しを遮ることに役立っていたことを実感できた。
- ・日向と日陰の温度差は約3℃あった。室内の温度上昇を防ぐことにつながりグリーンカーテンが節電効果に繋がることが分かった。

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

『地球温暖化を防ぐ立派なグリーンカーテン』を目指し、5学年全体で協力してゴーヤの育成に取り組んだ。今年度は、梅雨時期の日照不足やその後の猛暑といった不安定な天候の影響からか、初期の生育がよくなかった。葉の茂り方にも隙間ができるなど、当初は決して見栄えの良いグリーンカーテンとは言えない状況からのスタートだった。しかし、児童たちは育ちの悪さに不安を感じながらも、「なぜ育たないのか」「どうすればツルが伸びるのか」と、育成不良の原因や解決策についてインターネット等を使って主体的に調べた。そこで、極端な猛暑や日照不足が株に負担をかけることを知った。日々の観察を通して、「35度くらいの昼間は葉がぐったりしている」「曇りの日は土の中が乾きにくい」といった植物からのサインに気付くようになり、天候に合わせて

水やりの時間帯を変えたり、土の乾き具合を手で触って確かめてから水量を調整したりと、試行錯誤しながら世話を続けた。

日を追うごとにゴーヤのツルが少しずつ伸びていくのと同様に、児童たちの植物への愛着も深まっていった。放課後、学校へ遊びに来た際にも進んで花壇に立ち寄り、水やりや雑草抜きを行う姿が見られることもあった。また、作業中には通りかかった低学年の児童から「ここで何を作っているの？」と尋ねられ、5年生の児童たちがグリーンカーテンの役割やゴーヤの成長について嬉しそうに教えてあげる微笑ましい場面もあった。

グリーンカーテンの育成期間を通して、児童たちの環境問題に対する意識は大きく変化し、節電や節水が日常の行動として定着した。例えば、隣のクラスの電気がつけっぱなしになっていることに気付いて自ら進んで消したり、外遊びから帰ってきた後の手洗いでこまめに水を止めたりするといった姿が見られるようになった。

さらに活動の振り返りでは、海洋プラスチックごみや食品ロスなど、地球温暖化以外の環境問題についても自ら調べ、「グリーンカーテン以外にも、身の回りで自分たちにも取り組めることがある」と視野を広げる児童もいた。

完璧な出来栄以上に、課題を発見し、自ら調べて解決しようと動き、愛情をもって世話を続け、環境問題に主体的に向き合うようになった児童たちの心の成長こそが、本活動における最大の成果である。



畝を作り、苗を等間隔で植えている様子

撮影日：5／20

育成記録等

学年全体で協力して育成に適したふかふかの土を作り、児童がスコップを使って各学級の区画を分けて畝を作った。ゴーヤの葉がしっかり広がるよう、児童自らタブレットで適切な間隔を調べ、等間隔になるよう丁寧に植えた。



網を校舎の手すりに取り付ける様子

網を広げる様子

撮影日：5／20

育成記録等

苗を植えると同時に、協力してグリーンカーテンの網を設置した。1階と2階に分かれて網を設置した。設置の方法を動画で調べたり、経験のある教員にアドバイスをもらったりして無事に設置することができた。

観察カード 日付:6/5 観察したもの: ゴーヤ



植物の様子

葉が伸びてきた。茎が緑のところに絡みに行っている。葉の数が多くなったり、葉が大きくなったりしている。葉の裏がキザキザしている。元気そうで何より。

感想

台風でも耐えていたゴーヤが素晴らしいと思った。これからは元気に育ってもらえるように僕も積極的に水をあげたり、様子を見てあげたりしたい。

観察カード 日付:6/5 観察したもの: ゴーヤ

写真



植物の様子

最初より葉の数がふえてくきが太く、緑の棒に巻き付いていた。グルグルの小さなツタがたくさんあった。

感想

ごっちゃんが、ぐんぐん伸びていた。このまま花を咲かせ、実ができてほしい。

観察カード 日付:6/5 観察したもの: ゴーヤ



植物の様子

・下のほうの本葉は少し枯れてしまっている
・茎から弦が伸びている
・つるはし柱に巻き付いている

感想

↓ (よかった)

緑がすくすく育ってくれていてよかった。大きくなってみずみずしい実をつけられるように、水揚げを欠かさずにしたい。

↑ (水あげ)

児童がタブレットを使用し、作成した観察記録

撮影日: 6 / 5

育成記録等

タブレットを活用して観察記録をつけた。写真で記録を残すことでわずかな成長の変化も捉えやすくなり、友達の記録と共有することでクラスごとの生育状況の違いにも気が付きやすくなった。また、観察して気付いた葉のしおれや生育不良の対策を、タブレットで調べるなど主体的な学習ツールとして大いに役立った。名前をつけ、愛着をもって育てている様子もうかがえた。



ゴーヤに水やりをする児童の様子

撮影日: 6 / 26

育成記録等

各クラスで当番を決めて水やりを行った。初めは当番の児童のみであったが、徐々にゴーヤへの愛着を深め、放課後に学校へ遊びに来た際にも自主的に水やりや雑草抜きを行う児童が見られるようになった。



誘引紐をつなぐ様子



草取りをする様子

撮影日：7／3

育成記録等

初期の生育が遅くツルがうまく絡まなかったため、児童たちと解決策を考え、進んでツルの誘引や草取りを行った。ツルが均等にネットへ広がるよう紐で手助けし、一生懸命雑草を抜いた。苗やツルを傷つけないよう丁寧に作業する姿から、立派なカーテンにしたいという強い意欲とゴーヤへの愛情を感じた。



大きく育ったゴーヤの様子 (畑①)



増やした誘引紐が機能し、上手に網に結び付いた様子 (畑②)

撮影日：7／15

育成記録等

児童が工夫して増やした誘引紐に、ツルがしっかりと絡みついている。自分たちの丁寧な作業が植物の成長に直結していることを実感でき、日々の世話に対する責任感とやりがいをもさらに深めるきっかけとなった。



喜んで収穫する児童の様子

撮影日：9／3

育成記録等

児童が一生懸命に育てた苗が実り、嬉しそうにしていた。また、生育不良のものであっても自分たちが愛着をもって育てたゴーヤを喜んで収穫していた。



日陰で休む児童の様子

撮影日：9／4

育成記録等

2学期に入ってもグリーンカーテンは大いに活躍している。今後、どう変化していくか観察を続け、パワーポイントにまとめていく。下級生に伝承していき、来年度以降に生かしていきたい。

振り返り

ゴーヤを育てて、植物も人間と同じように暑さが苦手なことに気が付きました。地球温暖化を防ぐために自分にもできることを考えて、手を洗う時に水をこまめに止めるようになりました。2組がいないときに電気がつけっぱなしだったので、電気を消しました。これからも節水や節電を続けていきたいです。

振り返り

花だんのところで2年生の男の子に「何を作ってるの?」と聞かれて、「グリーンカーテンですずしくなるんだよ」と教えたら「いいなーぼくもお水あげたい」と言われました。一緒にお水をあげたら喜んでくれて、私もうれしかったです。

タブレットで調べて海のプラスチックゴミやフードロスの問題もあると分かりました。これからはゴミを減らしたり、給食も残さないように食べたいです。

振り返り

五年生の一番最初の総合の授業でグリーンカーテンを作ることで省エネや温暖化対策になると教えてもらい気温が上昇してる今にすごくぴったりだなと思いました。そしてつるがどんどん伸びてくにつれグリーンカーテンのうしろは外でもすこし涼しく感じることができました。そして収穫の時は雑草を抜くときにグリーンカーテンの土のところに入りました。その時はすごく涼しく感じました。また収穫の時に黄色い部分も見えたのでなんだろうと思いました。だから自主学习で調べてみようと思いました。

振り返り

最初はゴーヤの葉っぱが少なくて心配でした。タブレットで調べるとお水をあげるタイミングが大事だと分かったので、土をさわって乾いているかたしかめるようにしました。だんだんツルが伸びてきて、放課後に学校へ遊びに来た時も草むしりをしました。がんばって育てたゴーヤがかわいく思えて、お世話は大変だったけど楽しかったです。

撮影日：9／4

児童の振り返り

グリーンカーテンの活動を通して、環境問題への意識が日常の行動に結びついたことを実感した。手洗い時の節水や教室の消灯など、自分にできることに進んで取り組む姿が見られた。環境への当事者意識が確実に芽生えたことを嬉しく思う。



撮影日：9／3

撮影日：9／4

育成記録

青々と茂るグリーンカーテンの前に並ぶ児童たちの笑顔からは、自分たちの手で育て上げた喜びがうかがえる。毎日の観察や水やりを通して植物の命に向き合った経験、地球環境を思いやる経験は、生命を尊重する心、環境問題への意識を育んだ。節電や節水といった日常の主体的な行動にも結びついており、仲間と共に充実した活動を作り上げたことは、児童たちの確かな心の成長につながった。



5－3と5－5の集合写真

みさと緑のカーテンコンテスト エントリーシート

氏名または事業所（施設）名	（フリガナ）シンエイカガクサンギョウ（カ） 伸栄化学産業株式会社
住 所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電 話	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 03-1234-5678
エントリー部門	1. 個人の部 2. 団体の部 → 2 (番号を記入)
苗の育成状況	育成 10 本 (育成不良 0 本)
設置や育成について（工夫した点・苦労した点・失敗した点など） 今年度はじめて園芸担当となりました。園芸経験が無い為、前担当者に教えていただいたりインターネットで調べての取り組みとなりました。 今年度はゴーヤの横に朝顔を植えてみました。ゴーヤと朝顔が混ざらない様ツルの誘引とツルが伸びすぎない様に摘心をこまめに行いました。 はじめての園芸にしては素晴らしい出来だと思います。 収穫したゴーヤは社員に配りました。各家庭でゴーヤ料理を楽しみました。	
緑のカーテンで実感した効果（快適度・経済効果など） 南に窓がある為とても日当たりがよい事務所となっております。 窓に日よけシートを貼ってありますが緑のカーテンのおかげで窓際の人よりも快適に過ごせました。 窓にうっすらと透けて見える緑の葉にも癒されました。	

緑のカーテンを育てた感想（アピールポイントなど）

今年は自動散水をせず事務員が週交代で毎日水をあげ育てました。節水もできました。
みんなが協力してくれた事がとても嬉しいです。
頂いたゴーヤの苗がぐんぐんと育つ姿を毎日楽しみに過ごせました。
ゴーヤと朝顔で大きな緑のカーテンができました。

緑のカーテンの育成状況が分かる写真、自慢のカーテン写真を貼ってください。育成記録の欄にコメントをお書きください。



写真をお貼りください

撮影日：5月15日

苗の受取
苗を植えた



写真をお貼りください

撮影日：6月18日

ツルが伸び始めた



写真をお貼りください

撮影日：6月30日

カーテンになり始めた



撮影日：8月5日
 育成記録等
 ゴーヤ・朝顔共に
 綺麗な緑のカーテ
 ンになりました。

写真をお貼りください



撮影日：8月5日

写真をお貼りください